

今春卒業 174人が内定取り消し

昨年の5倍 100人超、コロナ影響か

今年3月卒業の学生で就職内定を取り消された人は、8月末時点で174人に上ると厚生労働省が15日発表した。昨年卒の35人より139人増え、東日本大震災があった2011年卒の598人以来の多さ。新型コロナウイルスの影響によるとみられる内定取り消しが104人を占めた。

企業などは内定を取り消す場合、ハローワークに届け出ることでおとり、8月末までの人数をまとめた。内訳は、大学生・専門学校生らが132人、高校生が42人。業種別では「生活関連サービス・娯楽業」が42人で最も多く、「卸売・小売業」が40人で続いた。取り消された174人のうち89人は、別の企業などに就職したという。

入社が延期になったり、入社したものの自宅待機を求められたりした人は1210人に上り、うち1208人が新型コロナウイルスの影響によるものだった。

(吉田貴司)